

授業科目名 <英訳>	東洋史学(特殊講義) Oriental History (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 教授 岩井 茂樹					
配当 学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2017・ 後期	曜時限	金1	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目	前近代の外交と文書資料										
【授業の概要・目的】											
<p>中国では官府の保存公文書を「案巻」などと称していた。清朝時代にはあらたに「档案」という用語が使われるようになった。案巻や档案は史書や地方誌の編纂のさいに利用されることはあったものの、朝廷の内閣大庫や地方官衙の架閣庫などに保管され、公開利用などの制度はなかった。1920年代末に内閣大庫の档案が市中に流出する事件が起こってから、あらためてその価値が認識され、保存措置が講じられるとともに、1930年代以降、中央研究院などによる組織的な研究が開始された。今日にいたるまで中国・台湾ですすめられた档案資料の整理・出版は、档案資料の利用におおきな利便をもたらしている。</p> <p>一方、日本では外国との文書のやりとりのさいに前例を参照する「勘文」の手続きがおこなわれ、その必要から記録が作成された。また、漢文による外交文書を作成するうえでの便宜から過去の文書例を編纂することがおこなわれた。</p> <p>このようにして伝存した文書資料を利用するための知識と、そこから得られる情報の分析の方法について学ぶ。</p>											
【到達目標】											
前近代の外交文書について基礎的な知識を把握するとともに、公文書に独特の語彙や句法を理解して、訳読ができるようになることを到達目標とする。											
【授業計画と内容】											
<p>「前近代の外交と文書資料III」にひきつづき、江戸幕府が編纂した『通航一覧』および琉球国で編纂された対外関係文書集『歴代宝案』を紹介するとともに、それらの所収文書や関連資料の訳読を通じて、前近代東アジアの通交の歴史を考察する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>『通航一覧』と琉球関係資料（第1～2週）</li> <li>『歴代宝案』および中琉関係档案資料など外交文書の選読（第3～14週）</li> </ol>											
【履修要件】											
本特殊講義では史料文献の講読をおこなう。漢文資料について経験のない方にも解りやすく解説するが、辞書をひいて自分の頭で考えることが求められる。											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
学期末のレポート試験によって成績を評価する。											
【教科書】											
授業中に指示する 教材は当方で用意し配布する。											
----- 東洋史学(特殊講義)(2)へ続く -----											

東洋史学(特殊講義)(2)

[参考書等]

(参考書)  
授業中に紹介する

[授業外学習(予習・復習)等]

配布した資料にあらかじめ目を通し、积読できない箇所など問題点を把握しておき、講義のなかでその問題が解決されなければ質問をすること。

(その他(オフィスアワー等))

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。